

平成 30 年 9 月 11 日

(一財) ボーケン品質評価機構課長	坂井 史治 様		
(一社) 日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様 (欠席)		
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様		
西川産業(株)品質管理室長	志村 洋二 様 (欠席)		
(株)ブリヂストン加工品新事業開発室課長代理	中西 貴浩 様		
(株)ロマンス小杉マーケティング部MD	引地 信之 様		
西川リビング(株)健康商品部課長代理	山田 善久 様		
(一財) ボーケン品質評価機構東京営業所主任	丸山 智生 様		
*オブザーバー			
(株)ロマンス小杉マーケティング本部部長	小出 登 様		
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良	事務局長	池田 努

## JBA 第 5 期業種別委員会：第 4 回ウレタン・敷部会 議事録 記

1. 開催日時 平成 30 年 9 月 5 日 (水) 10:00~12:30
2. 開催場所 JBA:(一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内  
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) JBA ラベル(マット敷)運用規定について  
(2) ラベル認証機関及び試験項目等料金について  
(3) ラベル記載内容 (QR コード他) について  
(4) 11 月説明会 (体圧測定デモ他) について  
(5) その他

### 議題(1)

- ・性能表記のガイドラインに関する説明を行った。(事務局・池田)
- ・申請フローチャートに関する説明を行った。(坂井部会長)
- ・修正版「ガイドライン(案)」(作成：大川委員)の説明及び検討を行った。
  - ・「硬さ」に関して、  
「ただし、製品厚さが 100 mm を超える場合は 100 mm で測定するものとする。」との追記を検討したが、追記内容は「へたりにくさ」に関する項目との意見があり、追記は見送られた。
  - ・「へたりにくさ」に関して、  
試験片は製品厚さで測定することが原則だが、一般的な 8 万回圧縮機械は、試験片の厚さが 100mm までしか対応できないとの指摘があり、  
対応策として、製品上部に低反発素材等の柔らかい素材が使われる傾向があるので、製品の上面から 100 mm までの部分を試験片とする案が提案された。  
これに対し、使用による湿気で下面からへたり易い。上層部分の試験では下層部に粗悪な素材が使われても良い試験結果が出るのではないか。(悪用される可能性の危惧) との意見があった。

検討の結果、原則として「試験片は製品の厚さで測定する。」旨を記載することで了承された。例外については再検討することとなった。

評価試験点数(n)は1点以上(n=1以上)である旨をガイドラインに記載することとした。

体圧分散図表の「平均成人男性」の記載を「成人男性」に修正することとした。

評価に用いる試験データの有効期限を3年間とする旨を記載することとした。

・今後の課題

① 高弾性と高反発のていぎについて

現状は両方の用語が分けられずに使用されている。JISの表記は「高弾性」となっており、これに倣ってJBAとしては「高弾性」表記を推奨していくが、強制は難しい。

② 圧縮梱包について

圧縮前後の硬さの変化について、評価方法の策定が必要と思われる。

(記載項目) 圧縮期間、圧縮度合い、他

③ 体圧分散試験機について

現状の2機種(ニッタ製、住友理工製)の他に、エクスセンサー、FSA(カハートワークス社)があり、試験機種に認定できる環境を整える必要がある。

議題(2)

・ラベル認証機関について

(一財) ボーケン品質評価機構 東京事業所 とすることで了承された。

・申請フローチャート等について

ラベル発行申請書は、単層用・積層用の2タイプ及びJBA交付申請書の作成が必要であることが判明した。→坂井部会長に作成を依頼した。

各評価試験料金についてボーケン(坂井部会長)より説明が行われた。

議題(3)

・ラベルに「QRコード」を記載することで、より詳細な内容や企業情報など見られるようにしていく予定である旨の説明が事務局より行われた。

GFラベルの表示者=JBA登録番号となっており、隠れ蓑になっている現状を踏まえ、2021年までに表示者名明記へ変更予定であるとの説明があった。(奥谷専務理事)

議題(4)

・11月12日(月)大阪会場(大阪織物商健康保険組合)

11月14日(水)東京会場(TKP東京駅カンファレンスセンター)

上記会場にて、参加予定数各150名で開催する予定との説明が事務局から行われた。

(説明会終了後に、体圧分散測定機のデモンストレーション(2社)を予定)

(坂井部会長、大川委員、丸山委員は2会場とも参加予定)

議題(5)

・8月20日に「軟質発泡材料-第9部:抗菌効果の求め方」がJIS化(JIS K 6400-9)された旨の報告があった。(大川委員) \*詳細はボーケントピックを参照

\*次回の開催予定: 10月26日(金)10:00~

場所: JBA事務所 vs 西川リビング会議室(TV会議)